

予算審査特別委員会

委員長 市原 弘
副委員長 佐々木 久昭



予算審査特別委員長

分科会での主な質疑をご紹介します。

総務分科会

所管 総務局・総合政策局・財政局・会計室・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員・議会

建設費の高騰による新庁舎建設時期の判断は

問 建設工事費の上昇や、消費税率の改定の影響などで、平成24年度の試算よりも市役所新庁舎の建設費が増額されたが、今後、建設費の上昇の状況によっては、新庁舎建設の延期という考えもあるのか。

答 建設費については、現在、労務単価が上昇している状況である。その時の社会経済情勢等を踏まえて、建設を進めるかどうか検討する必要があると考える。

自主防災組織の結成や活性化への取り組みは

問 自主防災組織の結成への支援や、組織の活動が盛んでないところへの対応は。

答 出前講座などの機会を使い、活動の促進に取り組んでいる。区と連携して、マンション管理組合や町内自治会が結成されていない地域などへ啓発文を配るなどしているが、引き続き区との連携を強化して、自主防災組織の結成や活動促進に取り組んでいきたい。



自主防災組織の活動事例「無事ですタオル」を使った安否確認訓練

保健消防分科会

所管 保健福祉局・消防局・病院局

介護人材の確保のための支援は

問 市内の介護施設等での就業を条件に行う初任者研修の受講費用助成事業について、介護人材の不足が課題とされている中で、助成件数が100件というのは少ないと考える。今後、助成件数を拡充する予定は。

答 平成27年度は、助成件数が100件だが、次年度は150件を予定しており、徐々に助成件数を拡大していく予定である。

両市立病院の院内保育所利用時間の拡充を

問 女性の看護師や医師が働くために院内保育所は非常に重要だが、24時間365日に利用時間を拡充することへの考えは。

答 夜間保育については、現在の利用状況や家族の状況などを踏まえ、直ちに全日とはいかないが、新年度早急に導入の可否については検討していきたい。



青葉病院の院内保育所

環境経済分科会

所管 市民局・環境局・経済農政局・区役所・農業委員会

地域運営委員会の設立単位は

問 住民同士の助け合い、支えあいによる地域運営を担う地域運営委員会の設立単位は。

答 主に中学校区単位を想定するが、規模の広い地域では小学校区単位もあろう。現状では、校区をまたがって活動する団体もあるため、相談しながら整合を図っていききたい。

企業誘致の対象は

問 企業立地の促進にあたり、どのような企業を対象にして誘致するのか。

答 平成24年から幅広い企業を数多く誘致しようと取り組んで来たが、今後は成長が望まれる特定の分野に、誘致対象を絞っていききたい。臨海部の製造業や幕張新都心のIT関連産業、亥鼻地区の産学連携から生まれたヘルスケア産業などの集積を本市の産業資源と捉え、エリアごとに対象を絞り、重点的に立地の促進、連携等の支援に取り組む。



IT関連企業が集積する幕張新都心

教育未来分科会

所管 こども未来局・教育委員会

保育の質の改善に必要な保育士の確保は

問 3歳児の保育士の配置基準について、児童20人に対して1人から、15人に対して1人に改善するに当たり、増員すべき保育士はどのように確保するのか。

答 公立保育所の場合、配置基準の改善のための増員も含め、平成27年度採用の保育士を、当初予定した50人よりも増やして57人とした。出張説明会を開催するなどして、段階的に正規職員を増やしていきたい。



保育士を対象とした採用説明会

学校施設の環境整備の計画は

問 小・中学校・特別支援学校の老朽化対策、トイレの改修、エアコンの整備は、今後何年間で実施する予定か。

答 老朽化対策としての大規模改造は、約30年間の保全計画に基づいて実施し、トイレの洋式化などの改修は、15年かけて実施する。エアコンについては、今後4・5年かけて、音楽室、特別支援学級、特別支援学校に設置する予定である。

都市建設分科会

所管 都市局・建設局・水道局

千葉中央港の海上交通の今後の展開は

問 千葉中央港の棧橋の完成を控え、これまで何度も海上交通の運航実験が行われてきたが、今後の展開は。

答 これまでの運航実験により、夜景観賞クルーズなどの遊覧船を活用した企画は実現しているが、横浜などとの都市間を結ぶ定期運航には実現への課題も多い。今後は不定期運航を主体に実験を行い、その可能性を探りたい。

自転車等の駐車対策に対する計画の見直しは

問 自転車等の駐車対策に対する総合計画の見直しの概要は。

答 駅への自転車等の乗り入れ台数や、土地開発状況の変化等を把握した上で、駐輪場の統廃合や新設・改良を含め、計画の見直しを行う。

また、24時間利用可能となる電磁ロック式ラックの設置箇所の拡大、防犯など安全性の向上を図るため監視カメラの設置を計画的に進めるほか、老朽化した照明灯のLED化など、駐輪場の質の向上に取り組む。



整備が進む電磁ロック式ラックの駐輪場